



## STEP 2 答え合わせ 5分

Track 02 をもう一度聞き、下線部を参照して答え合わせをしましょう。  
丸数字の箇所は「今月のルール」で解説します。

**Man:** It's too <sup>①</sup>warm in here. <sup>②</sup>Can I <sup>③</sup>open a window?

**Woman:** Are you kidding? You will <sup>④</sup>let in all that cold air! Heating a house is expensive, you know.

**M:** Yes, but opening a window won't <sup>⑤</sup>kill our budget. And we're keeping out fresh air.

**W:** Hmm, I do hate <sup>⑥</sup>stale air ...

**M:** And it <sup>⑦</sup>can end up causing all sorts of problems — like sick building <sup>⑧</sup>syndrome, as an example.

**W:** OK, OK, you win this time. Go ahead and <sup>⑨</sup>open it.



## STEP 3 「別録り音声」で聞いて、発音 5分

STEP 1 で聞き取った音声現象 (STEP 2 の太字) を、そこだけにフォーカスした「別録り音声」であらためて聞き、後に続けて発音しましょう。

- ・ warm - warm in
- ・ Can - Can I
- ・ open - open a
- ・ in - in all
- ・ kill - kill our
- ・ stale - stale air
- ・ can - can end up
- ・ syndrome - syndrome, as
- ・ an - an example
- ・ open - open it

### [今月のルール] [m][n][l] + 母音の連結

#### [基本編]

#### 3語以上が連結することも

今月は、語末の [m] [n] [l] が、続く母音と連結したときの音に注目しよう。[m] と母音が連結すると日本語の「ま行」、[n] と母音は「な行」、[l] と母音は「ら行」と似た音に聞こえる。

①の warm in は [m] と [i] が連結して「ウォーミン」のように聞こえる。②、③、④、⑦、⑨は、いずれも [n] + 母音の組み合わせだ。②は「キャナイ」、③は「オープンナ」。⑦は can end に加えて end up も連結し、up の語末の [p] が脱落しているため、全体で「キャネンダッ」。⑨は、open it の連結に加えて it の [t] が脱落しているため、「オ

ップニッ」のように聞こえる。なお、④は let in で一呼吸、置かれているため、in all の [n] と [ɔ:] はほとんど連結していない。STEP 3 では連結した場合の例を提示してあるので、確認しよう。

⑧では、syndrome, as はカンマで区切られているにもかかわらず [m] + [ə], an example で [n] + [i] が連結しているほか、as an でも [z] + [ə] が連結。全体で「スィンドウロウメアーザ ニグゼアーンポウ」と一続きに言われている。

⑤と⑥は [l] + 母音の連結。⑤は「キラウア」のように聞こえ、killer (殺人者) と似た音になっている。⑥は「ステイレーア」のように聞こえる。